

鮭川村スクールバス運行業務に係る企画提案仕様書

1 業務名

鮭川村スクールバス運行業務

2 業務目的

本業務は、鮭川村立小・中学校に就学する児童・生徒の通学手段確保のため、鮭川村教育委員会と運行協定を締結し、スクールバスの運行を行うものとする。

3 運行期間

運行期間は、令和4年4月1日から令和7年3月31日（3年間）とする。

契約の締結に当たっては、運行業務委託料若しくは委託期間について、必要があると認めるときは、契約を変更又は解除することができる旨を付する。

なお、本業務は運行開始前より関係機関への許認可手続きなど、準備作業を実施しなければならない。

4 業務内容

（1）運行計画

運行計画は、運行時刻表（別紙5）及び運行日数表（資料No.6）を基本とするが、利便性向上や運行効率を考慮のうえ提案するものとする。

なお、空き時間を利用して、保育所バスを運行するものとする

（2）運行車両

運行車両は、運行開始予定日までに道路運送法による旅客運送業等のほか、送迎用車両の運行を行う上で必要となる諸資格及び手続きが確実に可能なものとする。

鮭川村有スクールバス（資料No.1）の台数を超える場合は、受託業者の所有車両を使用するものとする。

また、鮭川村スクールバスの運行車両である掲示を車体外部に表示することとし、この場合の掲示は、車両の設備ではなくマグネット板等での対応も可能とする。

（3）運行路線

受託業者が提案したのち、鮭川村教育委員会との協議により決定するものとする。運行路線は、令和3年度スクールバス運行系統図（資料2～3）及びスクール・保育所バス停想定箇所図（資料8）を参考に、提案するものとする。

参考：令和3年度 【11路線】 小学校7路線・中学校4路線

（4）路線外運行

部活動、校外学習等通学以外の路線外運行の時間数は、次のとおりとする。

なお、各項目の時間数を超えた場合は、他項目と調整を図りながら双方で別途協議する。

項 目	年度の時間数	内容
保 育 所	5 0 時間	交流保育、遠足等
小 学 校	3 0 0 時間	総合学習等
中 学 校	1, 1 0 0 時間	部活動、総合学習等
総時間数	1, 4 5 0 時間	

(5) 停留所

停留所は、各学校・保護者・受託者と協議のうえ、鮭川村教育委員会が定める場所とする。

5 運行経費

運行経費は、次の費用を基本として積算すること。

(1) 人件費（運転者、運行管理者等業務に係るすべての人件費）

(2) 運行経費（運行管理経費、福利厚生費、社会保障費、教育費、事務所経費等）

鮭川村有スクールバスの維持管理（車検、法定点検、燃料、修繕、消耗品等）については鮭川村教育委員会で行う。

ただし、受託業者の責による故意又は過失等によって、鮭川村有スクールバスに損害を与えた場合は、受託業者において修繕する。

受託業者の所有車両を活用して運行する場合、その維持管理については受託業者が行う。

6 運行経費の負担

本業務に要する経費は、鮭川村教育委員会が負担する。なお、委託の範囲を超える村有車両による運転業務の委託料は、双方協議の上定めるものとする。

7 その他

(1) 運行

①運行に当たっては、道路運送法等の関係法規及び通知などを遵守し、誠実に取り組むこと。また、安全管理を徹底し、事故等を未然に防ぐよう努力すること。

②万が一、事故等が発生した場合は、直ちに適切な対応を行うとともに、鮭川村教育委員会へ報告すること。

③スクールバスの修理等による代替車両の用意は、下記の通り対応する。

ア 受託業者の責による故意又は過失等により修繕等が必要になった場

合、受託業者が代替車両を用意すること。

イ 車両の定期的な車検や経年劣化により修繕等が必要となった場合、代替車両は委託者が用意すること。

ウ 第三者の故意又は過失等により修繕等が必要となった場合は、当事者間で協議すること。

(2) その他

①業務の実施に関する苦情については、すべて受託業者が誠意をもって対応すること。

②業務が円滑に行えるよう万全の態勢を整え、従事する者に対して必要な指導や教育を実施すること。

③運行開始日までに必要な手続き等を遅滞なく確実に行うこと。なお、手続き等に係る費用は受託業者が負担すること。

④スクールバス車両の方向転換地については、協定締結後、鮭川村教育委員会及び関係機関と調整すること。

⑤乗務員等雇用については、地元（村内）より雇用することを原則とし、各種法令事項を遵守すること。

⑥代替乗務員を配置できるようにすること。

⑦この仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、契約時に協議するものとする。

以 上

鮭川村保育所バス運転業務について

(1) 鮭川・こまどり保育所登園

村有スクールバス利用により、各バス停乗車後 30 分以内に両保育所到着を原則とし調整を図る。

(2) 鮭川・こまどり保育所降園

小学校下校バスを優先し、村有スクールバスの早い路線の折り返し・路線バス・村有福祉バス利用及びデマンド車両により、両保育所を 16 時台に出発し、保育所乗車から 30 分以内に各バス停到着を原則とし調整を図る。

(3) バス調整事務等について

平成 28 年 4 月 1 日より、教育委員会と効果的かつ効率的な事務執行を図るため、補助執行協議がなされているが、教育課の事務執行への支障があるため、乗降車管理及び乗降箇所の協議決定等に関しては、健康福祉課にて関係課及び受託業者と協議調整を図る。

(4) 路線外運行について

交流保育等保育活動のためスクールバスの空き時間利用し路線外運行を行う。運行時間については年間 50 時間とする。